



▲小笠原古流と伝えられる実践型の弓射法が地元の皆さんによって守り続けられています

千年以上続く伝統行事「生里百々手祭」が春を告げる

3/18 三豊荒神宮

国指定重要無形民俗文化財の「生里のモモチ」は、延喜年間(901～923年)に源を発し、射手の所作や儀礼などが千年以上の間、厳格に守り続けられています。祭りでは、的を射抜いて地域の安全や大漁豊作を祈願するほか、厄払いの儀式も行われます。矢が的に当たると、観客からは大きな歓声と拍手が送られました。今年も活気ある祭りの一日が地域に春を告げました。



▲的に命中すると、御花が大量に投げ込まれていました



▲祭りの日には地元を離れている人も帰省。場を盛り上げます

レストランバスが三豊にやってきた！

3/24～25 三豊市内

地域商社「瀬戸内うどんカンパニー」が、レストランバスを活用した観光ツアーを開催。津嶋神社や父母ヶ浜を巡るコースを、2日間実施しました。参加者は、讃玄豚やオリーブ車海老など地元の食材を生かした料理を味わいながら、三豊ならではの景色を堪能しました。



▲レストランバスの三豊ツアーには、地元の皆さんがサポートで参加しました



▲2階建てのバスに乗っておいしい料理に舌鼓

消防団長に財田町の鈴木朝則さん

4/2 三豊市役所

財田町の鈴木朝則さんが、市長より消防団長に任命されました。鈴木さんは合併以来、副団長を務めており、藤川淳一団長の勇退に伴って、4月から団長となりました。「いかなる災害にも対応できるよう、気を引き締めて取り組んでいきたい」と決意を示してくれました。

おめでとうございます



農地を守る活動に農林水産大臣賞

3/22 三豊市役所

農業委員会で農地利用最適化推進委員を務める西山勉さんが地域の農業振興に貢献したとして、農林水産大臣から表彰を受けました。担当する山本町の西ノ谷地区では、集落営農組織を立ち上げ、認定農業者へ農地集積を進めるなど、人と農地を結びつける活動に取り組んでいます。



豊中町公民館が優良公民館表彰を受賞

3/22 三豊市役所

社会教育の振興に貢献した優良公民館として、豊中町公民館が文部科学大臣から表彰を受けました。豊中町公民館は、幅広い講座を開催しているほか、市内のデイケア施設と連携したボランティア活動にも取り組み、地域住民が学び、つながる場づくりに寄与しています。

みとよHOT ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは
市ホームページで 三豊市 検索

桜の名所 各地でにぎわい



紫雲出山 4/1

近年、桜の絶景スポットとして、注目を集めている紫雲出山。満開を迎えた週末には、県内外から1日3,000人を超える人が訪れました。その混雑を回避するため、期間中はシャトルバスの運行も。今年も、瀬戸内海の多島美と桜の組み合わせが多くの人を魅了しました。



▲大浜魚港からシャトルバスを運行しました



4/4

▲足元をピンク色に染める花びらが素敵でした ▲桜並木のトンネルにっこり

朝日山森林公園 4/1



2,000本の桜が咲き誇った朝日山森林公園。桜まつりでは、多くのお花見客の姿が見られました。テント村には、たけのこの天ぷらや高瀬茶のブースが店出し、食も楽しむことができました。



▲旬を求めて、たけのこの天ぷらには列ができていました

戸川ダム公園 4/1



4/7



▲謎之丞まつりのオープニングを飾った鉦おどり

戸川ダム公園も名所の一つ。観桜シーズンに合わせて開催される謎之丞まつりでは、残念ながら葉桜となってしまいましたが、ステージショーや野外バーベキューで大いに盛り上がりしました。